第74期 中間報告書

2023年1月1日～2023年6月30日

― オペレーション・カンパニーを目指す成長戦略 ―

NJS

健全な水と環境を次世代に引き継ぐ

ごあいさつ

株主の皆様には日頃よりNJSグループに格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。ここに、第74期第2四半期（2023年1月1日～2023年6月30日）の事業概要をご報告いたします。

2023年は、アフターコロナのマインドが強まる一方で、気候変動の影響が一段と顕著になりました。世界各地で、大雨、台風、猛暑、干ばつ、山火事などが発生し、脱炭素とともに水と環境の安全に関する認識が高まっています。

上下水道事業については、インフラの老朽化、料金収入の減少、職員の減少などが顕在化し、インフラの機能維持と事業の効率化が課題になっています。民間企業には個別の技術の提供だけでなく、事業運営も含めた対応も求められており、これを促進する制度としてウォーターPPPが推進される見込みです。

これに対してNJSは、「オペレーションカンパニーを目指す成長戦略」を公表し、事業運営の担い手としての機能を核としたビジネスの創出を図る成長戦略を明確にしました。この中でオペレーションとともにビジネス領域全体の強化を実現します。また運営の担い手として主体的に行動する「プロアクティブ集団」を目指します。

技術開発では施設点検の効率化を目的として、水上走行ドローン、水中ドローン、キャタピラ式カメラ車などの開発を進めました。

基盤強化では、物価上昇に対応した月給与の増額を行い、株主への利益還元の一環として株主優待制度も導入いたしました。

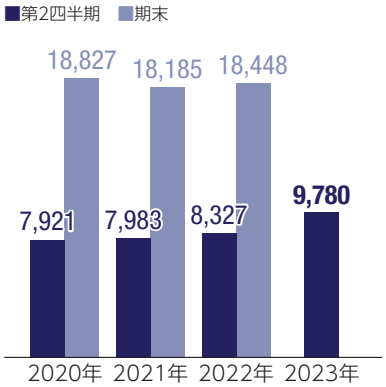
株主の皆様には、引き続き一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

株式会社NJS
代表取締役社長
村 上　雅 亮

財務ハイライト

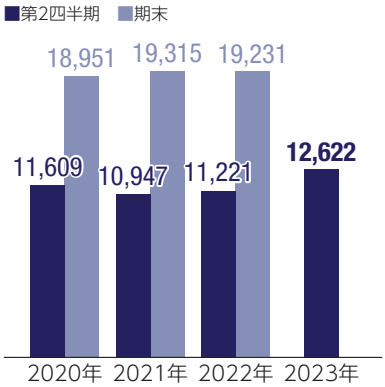
受注高

(単位:百万円)



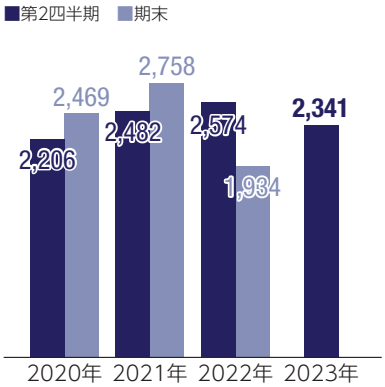
売上高

(単位:百万円)



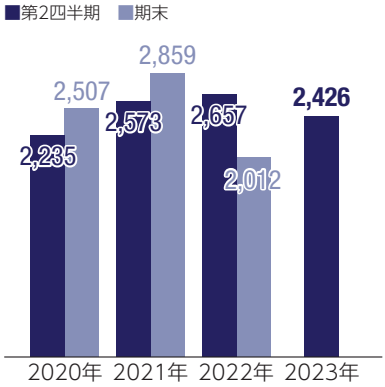
営業利益

(単位:百万円)



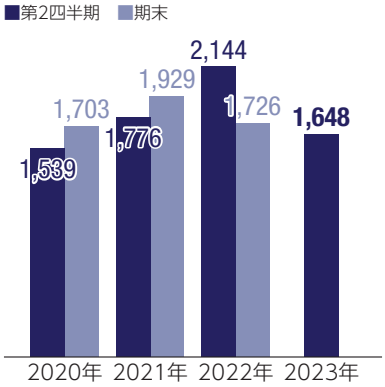
経常利益

(単位:百万円)



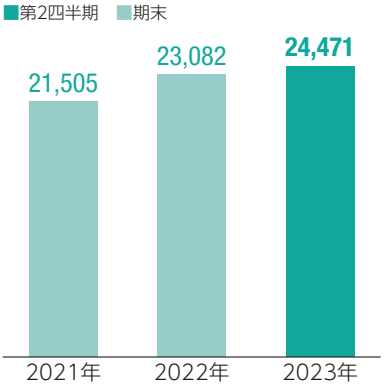
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

(単位:百万円)



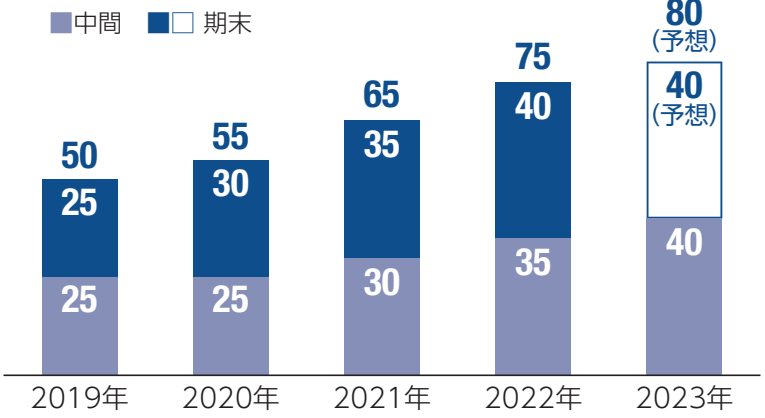
純資産

(単位:百万円)



配当金について

● 1株当たり配当金の推移(円)



NJS成長戦略の発表

オペレーションカンパニーを目指す成長戦略

インフラの老朽化が社会問題になる中で民間企業の果たす役割が期待されています。NJSはインフラ管理を中心とした事業運営に積極的に参加することによりビジネス領域全体の強化と拡大を図る成長戦略を策定いたしました。

NJSは、1951年創業の水と環境のコンサルティング&ソフトウェア会社です。

パーパスに「健全な水と環境を次世代に引き継ぐ」を掲げ、水と環境を通して豊かで安全な社会を創造するビジネスを展開しています。

今日、上下水道は建設の時代から維持管理の時代となり、サービスの持続と効率化が大きな課題となっています。この中で事業の運営に民間リソースを活用するPPP/PFIも広がっています。民間企業も公共事業のオペレーションの担い手としての役割を求められるようになっています。こうした状況は、地域の水と環境に取り組むNJSにとって新たなチャレンジであり企業価値向上のチャンスでもあります。

水と環境の事業環境

2023年は、気温や海水温がともに既往最高値となり、「地球は未知の領域に入った」と言われています。各地で豪雨や洪水が発生する一方、干ばつにより作物が育たず食料価格が高騰しています。温暖化の影響は既に地球システム全体に及び長期に渡ることは必須です。気候変動に少しでもブレーキをかけること（緩和）と地球環境と共存できる社会とすること（適応）が急務となっています。

上下水道事業については高度成長期に整備されたインフラの老朽化が進み、インフラの更新期を迎えています。また、人口減少に伴う料金収入の減少や職員不足も顕在化しており、地域との連携強化も含めて課題となっています。この中で、気候変動などの社会課題への対応とともに事業の持続可能性を高める手法としてウォーターPPPが提起されています。ウォーターPPPは、新しい資本主義の柱として推進されているPPP/PFIを水分野で促進する手法であり、民間リソースを活用して地域に応じた効率化を実現することがねらいとなっています。民間企業にとっては、新たなマーケットの創出である一方、高いレベルの運営スキルや人材確保が求められます。

写真：老朽化する上下水道施設
和歌山県六十谷水管橋落下事故
（国土交通省HP画像を加工）

NJSの成長ビジョン

気候変動やインフラの老朽化に対応し持続可能な社会を実現していくためには、地域の歴史的経緯や実情と地域が抱えるリスクやニーズを踏まえて、実効性の高い対策を講じ、市民や民間企業も含めて一体的に取り組むことが重要になります。個々の技術だけでなく効果的な対策を創出し推進する事業運営力（企画、遂行、検証、リスク対策）が必要になります。

NJSはこの事業運営の分野においても積極的な役割を果たし、ビジネスの拡大と企業価値の向上を図ってまいります。まず事業運営を担うオペレーションビジネスを拡大し、オペレーションを通じて技術やシステムの強化とインテグレーションを図り、あわせて人材の確保、スキル構築、意識改革を推進します。

NJSの成長ビジョンのフレームは次のとおりです。

■ NJS成長ビジョン

❶ ビジネスの拡大、人材育成、技術の強化を目的として、ウォーターPPPなどの事業運営を担う業務（オペレーションビジネス）を積極的に拡大する

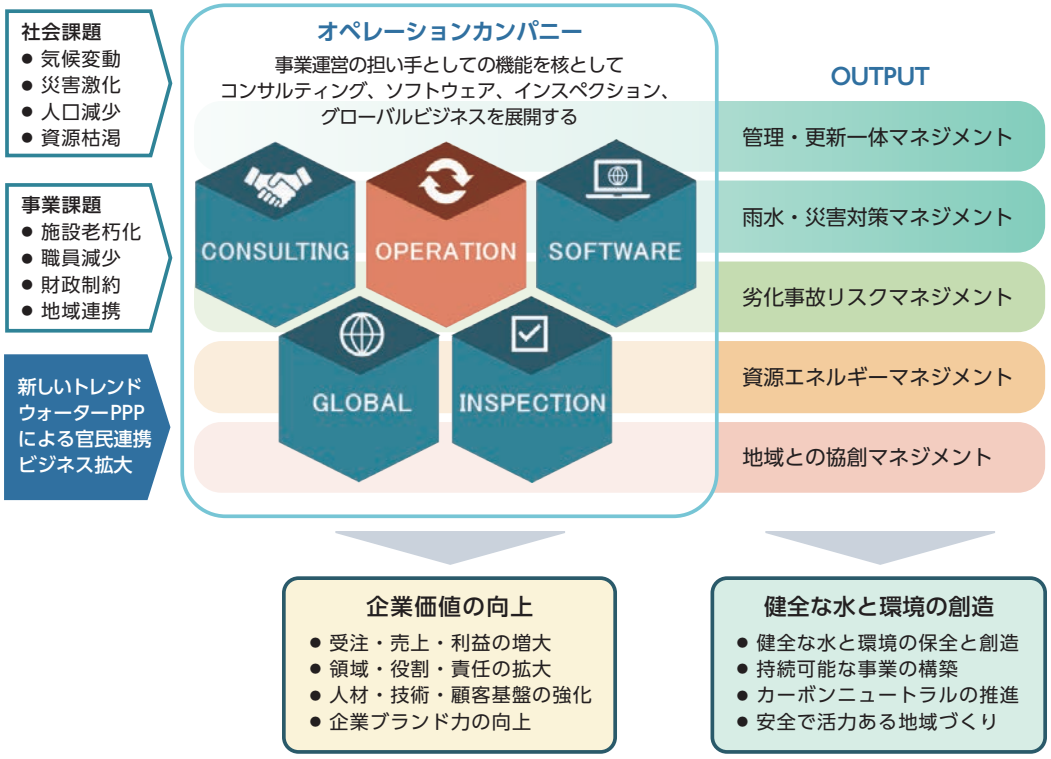
❷ オペレーションビジネスの拡大を通じて、事業運営の担い手の機能を核とした「オペレーションカンパニー」を目指す

❸ オペレーションカンパニーの取組みを通じて、管理・更新一体マネジメント、雨水・災害対策、劣化対策、エネルギー対策、地域連携などを推進する

❹ これにより、健全な水と環境の保全と創造、持続可能な事業の構築、カーボンニュートラルの推進、安全で活力ある地域づくりを推進する

❺ 同時に、ビジネス領域の拡大、企業収益の増大、人材・技術・顧客基盤の強化を実現し、企業価値の向上を図る

■ オペレーションカンパニーを目指す成長戦略のビジョン



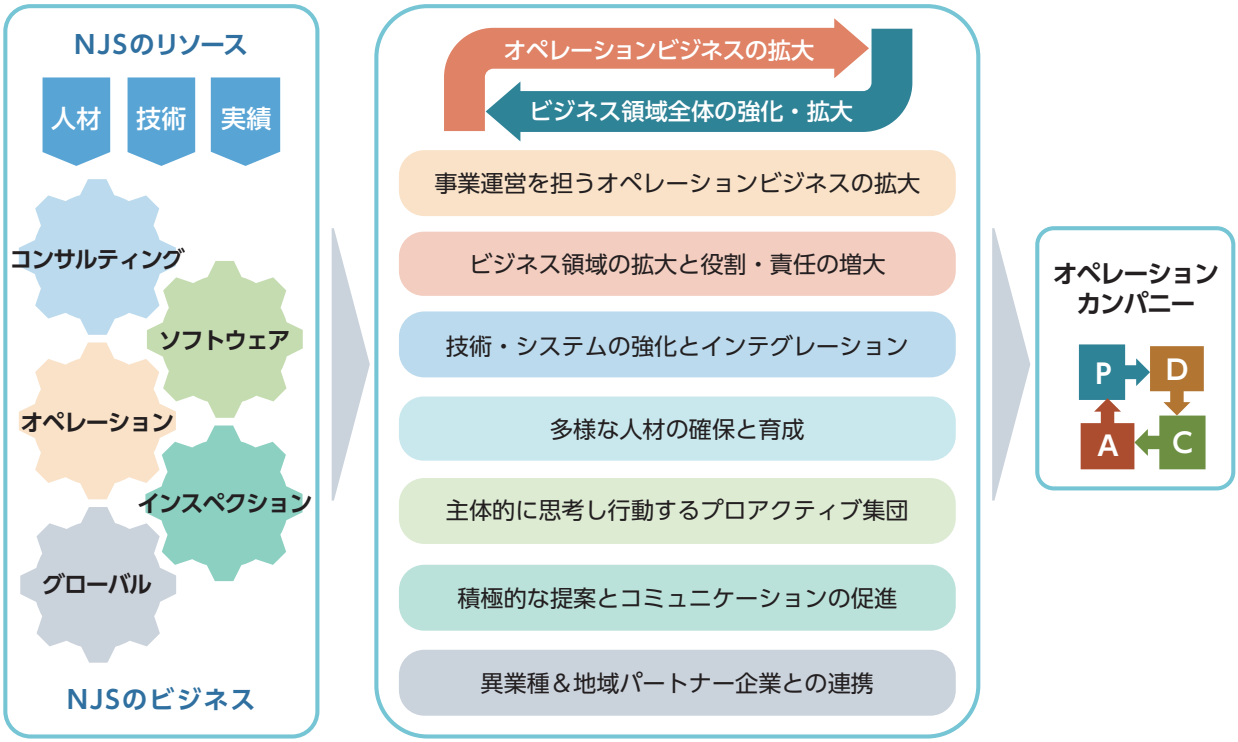
事業戦略

オペレーションカンパニーの確立に向けてNJSのリソース（人材、技術、実績）とビジネス（コンサルティング、ソフトウェア、オペレーション、インスペクション、グローバル）を活用し強化するとともにインテグレーションを推進します。

成長ビジョンの実現に向けた事業戦略は、次のとおりです。

- NJSのリソースやビジネスの活用により事業運営を担うオペレーションビジネスの拡大を図る
- 事業運営の担い手として必要なビジネス領域を拡大するとともにビジネスの役割と責任の増大に対応してビジネス体制の強化を図る
- 事業運営の実践的取組みを通じて技術やシステムの強化を図り、オペレーションの改善に向けたインテグレーションを推進する
- ビジネス領域の拡大に対応した多様な人材の確保と育成を推進する
- 事業運営の担い手として主体的に思考し行動する「プロアクティブ集団」に転換しエンゲージメントの向上を図る
- 顧客自治体に対する積極的なビジネス提案とコミュニケーションを促進する
- 積極的な発信と信頼により異業種や地域企業とのパートナー関係を構築する

■ オペレーションカンパニーを目指す事業戦略

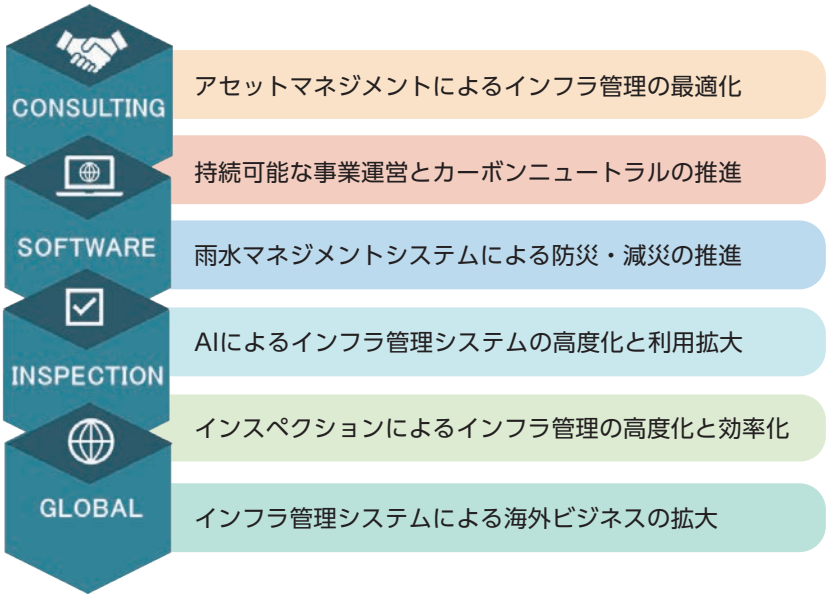


各ビジネス領域の強化と拡大の方針

コンサルティング、ソフトウェア、インスペクション、グローバルの各ビジネスにおける強化と拡大の方針は下表のとおりです。

コンサルティング	改築更新	事業運営を通じたアセットマネジメントによるインフラ管理の高度化・最適化
	経営・環境	持続可能な事業運営とカーボンニュートラルの推進
	災害対策	雨水マネジメントや浸水情報サービスによる防災・減災の推進
ソフトウェア		AI活用によるインフラ管理システムの高度化と利用分野の拡大
インスペクション		予防保全の実現などインフラ管理の高度化と効率化
グローバル		現地と一体となったビジネス拡大とNJSソフトウェアの海外普及

■ 各ビジネス領域の強化と拡大の戦略

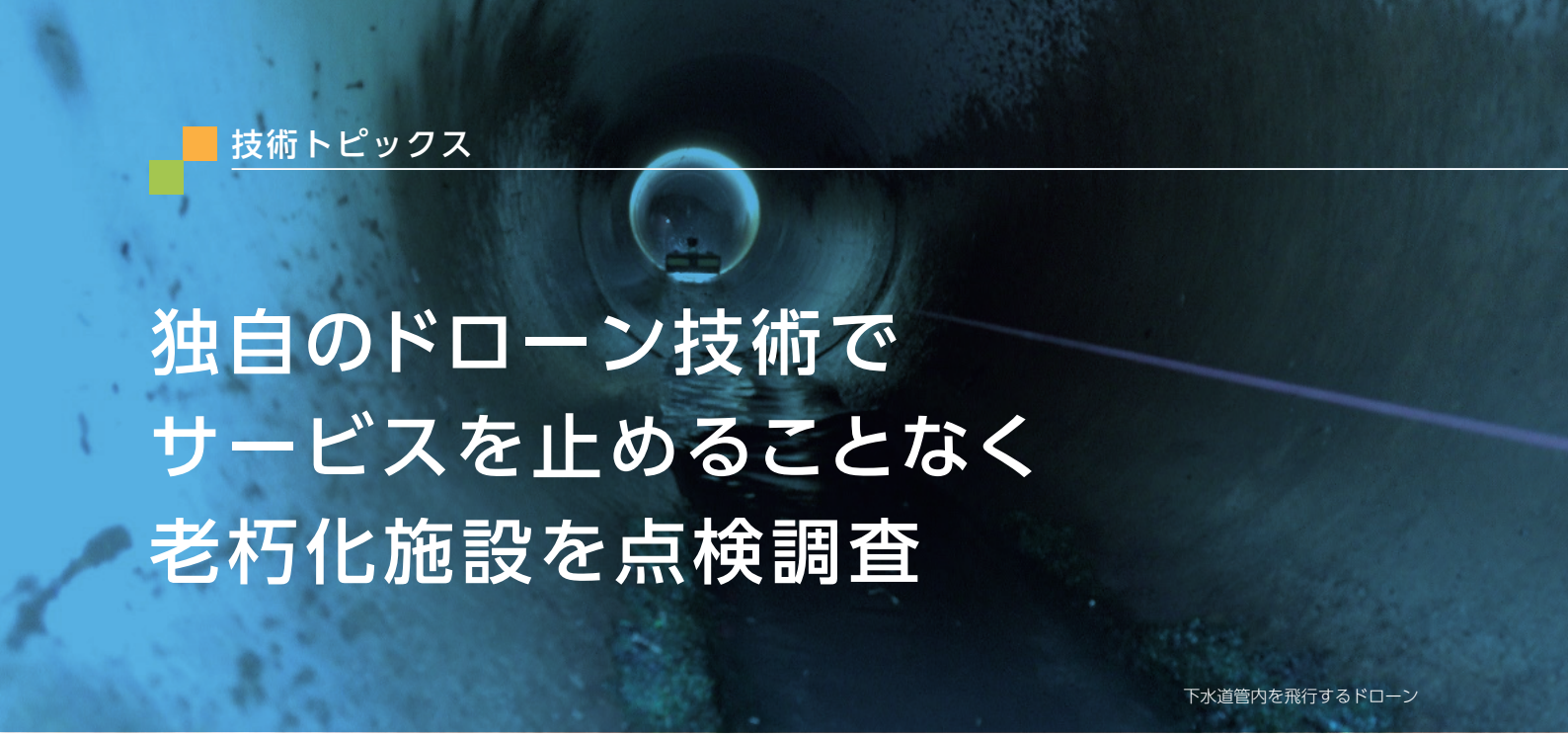


数値目標（連結）

オペレーションビジネスの拡大と関連するビジネス領域全体の拡大によって、2023年の売上330億円を目指します。

年	2022年(実績)	2023年度	2030年度
売上高(億円)	192	213.5	330
営業利益(億円)	19.3	26.5	40
純利益(億円)	17.3	18	25
従業員数(人)	1,137	1,200	1,600

独自のドローン技術で サービスを止めることなく 老朽化施設を点検調査



下水道管内を飛行するドローン

インフラ施設の多くは高度経済成長期に急速に普及が進み、現在は老朽化が大きな課題となっています。また、気候変動等による大雨災害の多発・激甚化等により、災害に対する強靭性の確保が求められています。これらの対策としてインフラ施設を正確かつ迅速に調査し、現状を把握することが急務となっています。

しかし、上下水道施設の多くは地下に埋まっており、また、浄水場や下水処理場などの地上にある施設も運転中は水が流れており点検が困難でした。当社は、インフラ施設の点検調査に対応したドローン等機器の開発に取り組んできました。

Water Slider® 水上走行式ドローン「Water Slider」

「Water Slider」は、供用中の大口径管路施設の調査に最適な水上走行式ドローンです。Water Sliderは、飛行式ドローンのプロペラと駆動部に船のようなフロート材を取り付け、プロペラによる推進力と地上からの操縦で、水が流れている状態の管内を撮影します。プロペラが水上に配置されていることで、下水中のごみを巻き込むことなく進むことができます。

本年はこのWater Sliderに改良を加え、左右方向にも推進できる新型機を発表いたしました。水路の凹凸部、湾曲部や障害物の回避をスムーズに行うことで、点検調査可能な範囲を大幅に拡大しました。

水上走行式ドローン　Water Slider

流水環境管路の点検調査映像

WATERi 水中ドローン 「WATERi」

「WATERi」は甲板部にカメラ、照明、ソナー等を設置する架台を配置したROV（遠隔操作型無人潜水機）です。潜水して水中施設の点検と、浮上して水上部の点検を、一度の調査で実施します。また、多様な機材を搭載可能としたことで、適用対象となる施設の幅を広げました。水槽式の構造物や放流管などの点検調査に最適な機材です。

これまでは、これらの施設の点検調査は完全に水を抜くか、潜水士が水に潜って行っていましたが、運転を停止しなければならない、潜水士が不足している等の課題がありました。WATERiを利用することで、水を貯めた状態で技術者がリアルタイムで画像を確認しながら施設の状態をチェックすることができるようになりました。

水中ドローン　WATERi

WATERiによる点検調査画像
（左：リアルタイム点検映像　右：水中潜行の様子）

Lucy キャタピラ式カメラ車 「Lucy」

「Lucy」（ルーシー）は、完全ケーブルレスタイプのテレビカメラ車で、キャタピラで走行します。「スルー&シー」（障害物を乗り越えて対象物をチェックすること）を略して名付けました。

地上からの給電ケーブルを不要とし、障害物を乗り越える強力な推進力を搭載することで、管内の自動調査を可能にしました。いったん地下の管内に設置すると、管内を撮影しながら進み自動で元の場所に戻ります。この間、作業員はマンホールを閉じて他の作業を行うことができ、点検調査の効率を向上させることができます。

小口径管カメラ調査車「Lucy」

サービスを止めずに、点検困難箇所を見える化

上下水道施設は最重要のライフラインであり、その供用を止めることはできません。点検調査のために「水を抜く」「運転を止める」「人が施設に入る」ことを回避して、安全かつ効率的にこれまで確認できなかった狭隘なスペースの点検調査を実現することが、当社の技術開発の方針です。

今後もインフラの課題解決に向け、インスペクション技術の開発を推進してまいります。

株主優待

NJSプレミアム株主優待倶楽部のご案内

当社は、株主の皆様からの日頃のご支援に感謝を示すとともに、
当社の認知度を向上させ、当社株式への投資の魅力をより一層高めることを目的として、
2023年6月末の株主様より株主優待制度を導入いたしました。

1 株主優待制度の概要

年2回進呈する株主優待ポイントを5,000種類以上の商品と交換可能

5,000種類
以上の商品と
交換可能

年2回
6月と12月に
ポイントを進呈

年間最高2万
ポイントを進呈
（保有株数500株～）

2 株主優待ポイント

保有株数に応じた株主優待ポイントを進呈

保有株式数	6月末日	12月末日
300 株～ 499 株	5,000 ポイント	5,000 ポイント
500 株以上	10,000 ポイント	10,000 ポイント

進呈条件

毎年6月末日、12月末日の株主名簿に、3単元（300株）以上保有する株主様として記載されること。

繰越条件

各基準日において、株主名簿に同一株主番号で連続2回以上、300株以上を継続して保有していることが記載されている場合、3回までポイントを繰越すことができます。（最大で4回分をまとめて交換）
なお権利確定日までに売却やご本人様以外への名義変更若しくは相続等により株主番号が変更された場合は、当該ポイントは失効となり、繰越はできません。

3 WILLsCoinについて

WILLsCoinに交換することでポイントの合算や有効期限の延長が可能

WILLsCoin でできること	①プレミアム株主優待倶楽部に参加する他企業の株主優待ポイントとの合算 ② WILLs Coin 限定商品との交換 ③有効期限の延長 ④クレジットカードとの併用

※WILLsCoinへの交換には、株式保有年数に応じて最大10%の交換手数料が発生します。

4　交換可能な商品の例

1,000 ポイント

ビーフカレー中辛
200g×2食

本枯節かつおパック
9袋

<Cotton TRES>
フェイスタオル

<ビデオマーケット>
動画視聴ギフト

3,000 ポイント

新潟県産こしいぶき
2kg×2袋

博多長浜屋台ラーメン
9食

<アットアロマ>マスク用
アロマシール&エアミスト

<濃州孫六作>
菜切和包丁

5,000 ポイント

鹿児島県産黒毛和牛
肩すき焼き用　350g

<佐藤水産>
こだわり鮭切身2種

<淡路島・古酒の舎>
セルフブレンドチケット

<磨き屋シンジケート>
ぐいのみ

10,000 ポイント

鰻楽うなぎ蒲焼
2尾

<雅和膳>
雅和膳 詰合せ

三国ワイン・セレクト
シャンパーニュ　アヤラ

<Crossfor NewYork>
Twinkle stud2ペンダント

20,000 ポイント

伊勢海老割烹料理
詰め合わせ

金賞受賞　ボルドー
赤ワイン 10本セット

<サムソナイト>
STRARIUM SPINNER 55

ホテル日航福岡セリーナ
ディナーブッフェ4名

※写真はイメージです。実際の商品とは異なる場合があります。

詳しくはWEBサイトをご参照ください

NJSプレミアム優待倶楽部

https://njs.premium-yutaiclub.jp/

会社概要/株主情報（2023年6月30日現在）

会社概要

社　　名	株式会社ＮＪＳ
創　　立	1951年9月
資　本　金	5億2,000万円
証券コード	2325

役員一覧

代表取締役社長	村上　雅亮
専務取締役	若林　秀幸
常務取締役	蒲谷　靖彦
常務取締役	土屋　　剛
取締役	井上　克彦
取締役	藤川　賢吾
取締役	山田　雅雄
取締役	小幡　康雄
取締役	小西みさを
常勤監査役	寺山　　寛
監査役	田中　敏嗣
監査役	渡邊　貴信

株主メモ

事業年度	１月１日から12月31日まで
定時株主総会	３月中
基準日	定時株主総会の議決権　12月31日 期末配当金　12月31日 中間配当金　６月30日
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所　プライム市場
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内１丁目３番３号　みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちで無い場合（特別口座の場合）
郵便物送付先	お取引先の証券会社等となります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉２丁目８番４号 みずほ信託銀行　証券代行部
電話お問合せ先		0120-288-324（フリーダイヤル）
各種手続きお取扱店（住所変更、株主配当金受取方法の変更等）		・みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行及びみずほ銀行の本店及び全国各支店	
公告の方法	電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。 https://www.njs.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告ができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。	

NJS
〒105-0023　東京都港区芝浦一丁目1番1号
TEL：03-6324-4355　FAX：03-6324-4356
ホームページ　https://www.njs.co.jp/

UD FONT
FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022915
VEGETABLE OIL INK
Waterless Printing Naturally
GREEN PRINTING JFPI P-A10007